

札幌 スポーツ協会だより

一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会
発行人 浅香博文
札幌市西区二十四軒2条6丁目
電話 011-612-1184
FAX 011-641-8966

「その情熱が明日への原動力」 札幌市障がい者スポーツ協会 会長 浅香博文

平素、障がい者スポーツをご支援してくださっている皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、年が明けてお正月、いよいよオリンピック、パラリンピックイヤーの幕開けだと心を躍らせて新年を迎えた人も多かったのですが、この新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延によって、オリパラを含め、あらゆるイベント等が延期、中止となってしまいました。誰がこんな世の中を見越していただけでしょうか。これにより例外なく札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック）や車椅子マラソン大会など、札幌市内で開催されてきたあらゆる大会が中止となり、全国障害者スポーツ大会も、昨年（台風19号により中止）に続き中止することが発表されました。



何と言っても厄介なことは、人が集まつたらダメだということです。どんなスポーツでも、選手がいて、運営する人がいて、それを応援する人がいて成り立っています。ましてや障がい者スポーツは、運営する人、応援する人をより厚くし、より緻密に大会が開催されていますので、今後、練習や大会を開催していくうえで、より慎重な対策を講じていかなければならぬと思っております。

秋、冬には第2波・第3波が来ると言われており、収束までの道のりはまだまだ長いのかもしれません、悲観することばかりを言っても決して前には進みません。

まだ今年も半分しか終わっておりませんが、来る年がスポーツを愛するものにとって明るい年として迎えられますよう、感染予防を取りながら、頑張ってまいりましょう。

第20回全国障害者スポーツ大会(鹿児島県)開催見送りのお知らせ

5月25日政府の緊急事態宣言は解除されたものの、依然感染拡大予防の対策・対応が求められており、大会の開催に当たっては選手を含むすべての大会関係者にとっての安全、安心な大会開催の確保が難しいことや、大会を開催することにより多くの人々が全国から鹿児島県へ移動し、新たな感染拡大・クラスターになる恐れがあること等から、今秋の鹿児島大会については開催しないこととなりました。

つきましては、皆様には、誠にご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



すずらんピックの想い出



2011年 競争(車いす1500m)



2013年 アーチェリー



2015年 フライングディスク

令和2年度札幌市障がい者スポーツ協会定時総会開催

【日時】 令和2年5月12日

【議案】 ①令和元年度事業報告の内容報告について、②令和元年度収支決算の承認について、③札幌市への要望について、④顧問の選任について

【審議】 新型コロナウィルス感染症の第2波到来に伴い書面により実施したところ、提出議案について原案通り承認決議されました。

この結果、札幌市スポーツ協会会長生島典明氏が、新たに当協会顧問として選任されました。

パラリンピアンからのメッセージ

狩野 亮(かのう あきら)選手 アルペンスキー 網走市出身

2006年トリノパラリンピックから4大会出場。2010年バンクーバーパラリンピックでは、スーパー大回転で金メダル、滑走で銅メダル獲得。2014年ソチパラリンピックでスーパー大回転、滑走で金メダル獲得。

【競技を始めたきっかけ】

障害を負う前からスキーをしており、事故後チェアスキーのレンタルがあることを知り、もう一度雪上に戻りたいと思ったため。

【狩野選手にとってスポーツとは(スポーツの魅力)】

私の中の障害というものを消し去り、今の狩野 亮という人間全てを作ってくれたもの。魅力は何より雪上では自由になれること。

【目標や夢】

北京大会、高速系種目での表彰台。そしてその先の可能性を切り開くこと。

【皆さんへのメッセージ】

現在、私自身も次の遠征や大会の目処が全く立たない状況です。しかし、こんな時期だからこそ自分と向き合うことが出来たと思っています。そして、私たちが生きているスポーツという世界は、平和の基に成り立つものだと、改めて感じました。競技会が再開した時には、これまで以上にスポーツを貪欲に楽しみ、たくさんの刺激や感動を生み出して行けるよう、今は充電の時だと思い乗り切っていきましょう！



藤田 征樹(ふじた まさき)選手 自転車 稚内市出身

2008年北京パラリンピックから3大会に出場。3大会合わせて銀メダル3、銅メダル2を獲得。世界選手権でも2度の優勝経験を持つ。

【競技を始めたきっかけ】

最初は義足でトライアスロンに取り組んでいたのですが、少しでも自転車が速くなりたいと思ってパラ自転車競技の大会に挑戦したのがきっかけでした。

【藤田選手にとってスポーツとは(スポーツの魅力)】

「前を向くチカラ」だと思います。スポーツをしたり応援するとき、皆さんそれぞれの目標や願いに向かって前向きになれると思います。私がリハビリをしていた時は「また走ったり自転車に乗りたい！」という気持ちが大きなモチベーションになって頑張ることができました。

【目標や夢】

競技者としてより強くなることを目指したいです。自分のベストを追及して東京大会に挑戦したいです。

【皆さんへのメッセージ】

まだ思うように練習できなかったり大会が無い状況が続いてますが、今頑張っていることが未来につながり、またスポーツを楽しめる時がきっと来ます。

健康第一で、前向きに楽しむことを忘れずに乗り越えていきましょう！



**二條 実穂 (にじょう みほ) 選手 車いすテニス 旭川市出身
2016年リオデジャネイロパラリンピックダブルス4位入賞**

【競技を始めたきっかけ】

大工として働いていた23歳の時に建築現場の足場から転落し脊髄を損傷。車いす生活に。偶然見たテレビがきっかけで車いすテニスを知り退院後すぐ始めました。

【二條選手にとってスポーツとは(スポーツの魅力)】

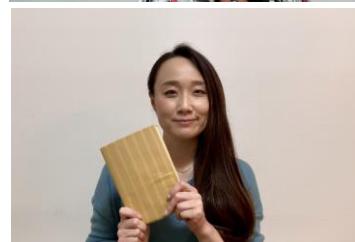
「宝物」。スポーツを通じて得た経験や人との出会いは、私にとって宝物です。

【目標や夢】

障がい者スポーツの魅力をたくさんの方に知ってもらい、幅広い方々に楽しんでもらう。そして、その時間を共にすることです。

【皆さんへのメッセージ】

思うようにスポーツを行えず大変な状況だと思いますが、この状況だからこそ読書で心を鍛えたり・整えたりすることもおすすめです。また再開できる日に向けて今はそれぞれできる範囲で、スポーツに必要な「心・技・体」3つの準備を頑張りましょう。また皆さんと笑顔でスポーツができる日を楽しみにしています。

**コロナ下のスポーツ**

北海道教育大学岩見沢分校 大山祐太准教授

新型コロナウィルスの蔓延で、多くのスポーツイベントが中止に追い込まれている。ポストコロナのスポーツはどうあるべきか、今まさに問われている。私は「アダブテッド・スポーツ（以下、AS）」が、私達の「心持ち」に示唆を与えてくれるように思う。ASとは、障害者をはじめ誰もが楽しめるよう、道具やルールを実践者に合わせて修正したスポーツ・レクの総称である。心身機能・構造は変えられなくとも、環境は変えられる。スポーツを「〇〇ができる人には無理」と捉えるのではなく「こう工夫すれば〇〇ができる人でも楽しめる」と、実践者に合わせていこうという方法論的概念だ。



今は從来できることができなくなったと気落ちすることが多いだろう。しかし、行動主体である自身に前向きな気持ちがなければ、何も成すことはできない。「今でもコレはできる」、「こうすればできるようになるのでは」という視点をもつことが重要ではないだろうか。2020年がピークの選手にとってはオリ・パラの延期は非常に苦しいが、伸び盛りの選手にとっては追い風かもしれない。全員の練習に制限が生じている今の過ごし方次第で、むしろライバルに差をつけられるかもしれない。リモートワークの普及にみると、無意識だった「当たり前の行動」に対して効率性やコストなどを見直す良い機会となったかもしれない。

そもそも、感染症の蔓延が生じずとも、自身の身体も、取り巻く環境も変化しないはずがない。重要なことは、変化を嘆き過去を懐かしむことではなく、変化を的確に捉えた上で、「工夫を凝らし」合理的に判断・行動してゆくことである。パラリンピックの父、グットマン氏が言うように「失ったものを数えるのではなく、残されたものを最大限生かす」べきではないだろうか。

パラスポーツと新型コロナウイルス感染症

広田医院 森田肇副院長（障がい者スポーツ医）

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい始めて半年以上がたちました。地域によって差はあるものの感染の拡大が止まらない国もあり、終息にはまだ時間がかかりそうです。今回のコロナ禍により私たちの生活様式は一変しましたが、今後終息しても完全に元に戻ることは難しいかもしれません。感染力の強いウイルスや細菌などの病原体の蔓延を予防する方法は、当たり前のことですが「うつらない・うつさない」ことに尽きます。不安のあまりむやみに大げさな対応をとる必要はないと思いますが、これからは感染の可能性を常に意識した生活が求められると思います。



東京オリンピック・パラリンピックなどの国内外の多くのスポーツイベントが中止・延期になりました。これらを目標に頑張っているアスリートだけでなく、健康増進のために日頃スポーツに取組んでいる人たちにとっても「三密」を避けるための施設の休業などにより日常の楽しみの場が失われました。パラスポーツではガイドが必要な競技や移動などさまざまな部分でサポートを必要とすることが少なくないため、人との接触の機会がより多いと思います。また障がいの種類や受けている治療によって、もともと感染に弱い身体状況にある場合もあり、ウイルス・細菌などの感染予防には健常者以上に注意が必要です。

新型コロナと同じウイルス感染症であるインフルエンザも毎年多くの感染者が発生し死者も少なくありませんが、確立された治療法の存在により、私たちはそれなりに共存できています。「うつらない・うつさない」ことへの意識とそれに基づいた適切で冷静な行動、有効な治療法の存在により、将来新型コロナウイルスとも共存し、安心してスポーツを楽しめる日が必ず来る信じています。

初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の開催について（告知）

【日時】 令和2年11月28日(土), 29日(日), 12月5日(土)

【場所】 札幌市身体障害者福祉センター3階大会議室

【定員】 30名

【カリキュラム】 全課程(講義と実技)21時間（詳細は当協会HPに掲載中）

賛助会員ご加入ありがとうございました

◇個人	令和2年3月1日～3月31日(受付順)	(敬称略)
高坂 猛	佐藤智恵子 羽田 信武 石川 佳穂 以頭奈保子 佐藤 佳幸 青木 由佳 赤沼 雅子	
出口 信真	山口 陽子 高橋 道孝 山本 文子 渡辺 幾子 谷澤 紗子 仁部 一夫	

◇法人・団体	令和2年3月1日～3月31日(受付順)	(敬称略)
(株)JTB 北海道札幌法人事業部 社会福祉法人札幌市社会福祉協議会 (株)ムトウ 水泳クラブブリー		

令和元年度(4月1日～3月31日)

個人会員	178件	446,000円
法人・団体会員	91件	610,000円
合計	269件	1,056,000円

賛助会員の募集

令和元年度の賛助会費の使途につきましては、大会開催・派遣の助成やスポーツ指導者養成等に活用させていただきました。今後とも皆様のご支援をお願いします。

◇個人	令和2年4月1日～6月30日(受付順)	(敬称略)
佐藤 学	野村 萌 五十嵐衿子 石川 英仁	高橋千鶴子 高橋 幸夫 渡邊 正良 扇谷 明美
中平 正幸	高田 康夫 石山 博史 志藤 昭子	山崎佳奈子 井上 敬常 眞鍋のり子 坂野 政也
野島 聰	盛岡 伸 沼澤 一夫 橋本 順子	才田 嘉子 小黒トシ子 前田由紀恵 田島 元樹
沖村 圭子	古屋 京子 岡崎 勇二 小林 麻里	渡辺 淑子 棟 智恵子 檀 澄子 鹿熊世紀子
浅香 博文	松田 敦 濵谷 直 金谷 泰亨	舟崎 隆 吉羽 隆 金 操 松田 信幸
松田 智子	吉田 啓子 遠藤まゆみ 伊藤 孝之	河原 麻子 三浦 淳 川岸 裕子 安田 泰次
鈴木 幹夫	仁科 啓孝 仁科 敬子 後藤 久雄	柴田 美樹 保坂 正勝 保坂美根子

◇法人・団体	令和2年4月1日～6月30日(受付順)	(敬称略)
(株)ロックウェル	公益社団法人北海道理学療法士会	医療法人社団いとう整形外科病院
(株)ワールド	札幌地区バドミントン協会	医療法人社団元氣会札幌整形外科
(株)ノアコンツェル	大塚ウエルネスベンディング(株)	札幌ろうあ者パークゴルフクラブ
(株)日本旅行北海道札幌支店	一般社団法人札幌市医師会	札幌市身体障害者アーチェリー協会
(株)さんけい	中失協ゲートボールクラブ	札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ
(有)安藤プリント	中失協ボウリングクラブ	あいおいニッセイ同和損保(株)札幌支店
(有)恒志堂	一般財団法人さっぽろシュリー	特定非営利活動法人障害者自立支援団体麦の会
札幌ろうあボウリングクラブ	札幌協サウンドテーブルテニスクラブ	札幌ゲートボール連合

スズボの伝言板



◇チャレンジ◇

感染への不安や孤立感に駆られた春を過ぎて迎えた初夏。新型ウイルスは、体を動かせることや気軽に人と話ができる大切さを改めて気づかせてくれた。

緊急事態宣言は全面解除になったものの「新型ウイルスの特性により、無症状者から目に見えない市中感染が今後も起きうると考えた方がよい。」と、専門家はウイルスとの共存を指摘する。「ウイズコロナ」の時代に合わせた新たなモデルが求められている。

絶え間なく進歩するテクノロジーは、テレワークの拡大を始めバーチャルリアリティ的なスポーツ観戦スタイルなどの方法を編み出している。ピンチはチャンス。パラスポーツに取り組む人たちには、逆境に向き合い「できないこと」ではなく「どうすればできるようになるか」に集中し、乗り越えてきた経験があります。不確実な未来に向けて、今こそ「スポーツの力」を発揮しよう。